

光経済研究所株式会社

東京都中央区日本橋人形町 1-18-9 TEL 03 (3669) 2331(代)

証券投資顧問業登録関東財務局長第 557 号 日本証券投資顧問業協会会員 011-00557 号

2003 年 11 月 17 日号

ファンドマネージャー 出来岡 潔

[dekioka@hikarikeizai.co.jp](mailto:dekioka@hikarikeizai.co.jp)

10月15日号のレポートから5回にわたって基本数値についてご説明してきました。

かい摘んでご説明したに過ぎませんが、それでもだいたいご理解頂けたのではないのでしょうか。今回はまとめです。

基本数値の中で最も重要なのは**26**です。(11月10日号のレポート参照)

26日は**一期**(いっき)ともいわれます。**一つの期間の期**と書くわけですから、これだけでも意味が分かりいただけると思います。

基本数値には含まれていませんが、26の2倍にあたる**51**(二期)というのも重要な数値の一つです。

(注意…26の2倍は52ですが、たとえば安値から高値まで26日上げて、その高値から直近の安値まで26日下げるといったケースでは、高値のところを2度数えることになりますので、1を引いた51が二期であるわけです)

**6954 ファナック**のチャートをご覧ください。

このところ低迷していますが、9月2日高値8080円から直近の安値までの日柄は、すでに**二期**に相当するうえに**N計算値**の6080円にも近づきつつある……

こんな見方をしていくわけです。つまり、単に基本数値に該当するから変化日だと見るのではなく、必ず計算値と合わせて考えるようにして下さい。

この件に関するお問い合わせは 03-3669-5022 入会ご希望の方は [dekioka@hikarikeizai.co.jp](mailto:dekioka@hikarikeizai.co.jp)

毎日更新、旬な銘柄を選んで分かりやすく解説する、無料テレフォンサービスの「人気株情報」 03-3669-5552 で放送中、是非お聞きください。

### 《ファナック》日足



Alpha Chart 社製

このレポートは投資の判断となる情報の提供を目的としたものです。銘柄の選択、投資の最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願い致します。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。